

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語ⅡC(0251)	
科目基礎情報							
科目番号		0149		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科		産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年		2	
開設期		前期		週時間数		1	
教科書/教材		『Mainstream English Communication II』, 増進堂, 2016. 『メインストリームコミュニケーション英語Ⅱ ワークブック』、風早寛 『速読英単語 入門編』 改訂版、Z会、2005. 風早寛 『速読英単語 必修編』 改訂第6版、Z会. 『書きこみノート英文法』 今居美月、学研。					
担当教員		戸田山 みどり,野田 欣一					
到達目標							
工業英語検定4級、実用英語検定準2級合格レベルに達し、さらに上の級をめざす							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		工業英語検定4級、実用英語検定準2級合格レベルに達している		工業英語検定4級、実用英語検定準2級合格レベルにほぼ達している		工業英語検定4級、実用英語検定準2級合格レベルに達していない	
評価項目2							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 A 学習・教育到達目標 D							
教育方法等							
概要		英語ⅡA,Bで学んだ文法および語法を復習しつつ、新たな文法・語法を学ぶことにより、幅広い話題について聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばす。英語の構造に見られる英語話者の思考様式を理解し、異文化の理解を深める。語彙力は、高校1－2年生でマスターしておきたい基本語600－690語を身につける。					
授業の進め方・方法		高等学校外国語科用文部科学省検定済教科書『英語Ⅱ』を用いて、英文の読解、文法事項の解説、語句の活用練習、発音練習、文化的背景の説明を行う。基本的に毎週小テストを実施する。英和・和英辞書は毎時間必ず持参しなければならない。					
注意点		予習として、テキスト本文の指定された箇所を読み、分からない単語・熟語を調べることが求められる。また、授業中の指導にしたがって、適切にノートを作成する。復習としては、単語・語句・文法・構文の暗記が必要である。また、本文の内容を理解するために、日頃から新聞、テレビの報道番組、インターネットのニュースサイトなど、情報源となるものには注意を向けておくこと、教科書の内容と関わる本を読むことも重要である。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	秋学期の復習テスト 4. The Pleasure of Finding Things Out文法: would do/used to do				
		2週	文法: SVOO(=wh節)／挿入				
		3週	Part 1				
		4週	Part 2				
		5週	Part 3				
		6週	Part 4				
		7週	Practice				
		8週	5. Design for the Other 90% 文法：複合関係詞／All SVis (to) do／前置詞＋関係代名詞				
	2ndQ	9週	Part 1				
		10週	Part 2				
		11週	Part 3				
		12週	Part 4				
		13週	Practice				
		14週	Review				
		15週	試験				
		16週	試験返却				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。		3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。		3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。		3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。		3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。		3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。		3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。		3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。		3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。		3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。		3	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。		3	

			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合							
	試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0